

Case 1

今回ご紹介するのは、70代後半のご入居者さま。

入居された当初は水分がなかなかとれず、日中もぼんやりされることが多く、意思疎通も困難な状態でした。そこで、「水分・食事・運動・排泄」の基本的ケアをもとに、少しずつ生活のリズムを整えていきました。

■生活リズム改善に向けた具体的なケア

水分補給	・入浴後や歩行後に飲みやすい飲み物やゼリーを工夫してご提供。 ♡1日700mlだった水分量が、1日1800mlまで摂取できるように。
運動	・施設内の歩行からスタート。 ・公園や保育園など、地域へ足を運ぶ取り組みへ。 ♡外の空気を感じながら体を動かすことで活動量が増えました。
食事	・活動量に合わせた食事の見直しを実施。 ♡食欲が回復しました。
排泄	♡自然な排便リズムを取り戻すことに成功

これらの積み重ねによって、表情や会話が増え、以前よりも活気のある毎日を過ごしていただけるようになりました。

■ご家族からの嬉しい言葉



家族のことを思い出してくれたのよ！

面会されたご家族からは「雰囲気（表情）が明るくなり、会話もできて、なにより家族のことを思い出してくれた！」と、嬉しいお言葉をいただきました。

私たちスタッフにとっても、これほど嬉しいことはありません。

これからも、ご入居者さまが笑顔を取り戻せるよう、お一人おひとりに寄り添い、心を込めたケアを実践してまいります。